

幼児の発達について知ろう！

3年____組____番 名前 _____

1. 幼児期の発達について、教科書 P.24～25を読み()の中に当てはまる語句を書きましょう。

人間は、生まれてから死ぬまで様々な環境の影響を受けながら生涯にわたり変化している。こうした()の変化のことを発達という。

発達の大きな特徴には()と()がある。

順序性とは、()から()へ体が発達する順番が決まっていることを言う。

個人差とは、はいはいの時期が長かったり、言葉が出るのが遅かったりと、出現の遅速が()によって様々であることや、興味・関心の持ち方などが()であることを言う。

2. 教科書 P.24～27やワーク P.14～15を見て乳幼児の体や手先の発達の過程をまとめてみよう。

0歳	記入例 ・首が座るようになる ・はいはいをする ・つかまり立ちをする		○身長:約50cm ○体重:約3kg
1歳			○身長:約75cm ○体重:約9kg
2歳			○身長:約84cm ○体重:約11kg
3歳			○身長:約93cm ○体重:約13kg
4歳		○身長:約100cm ○体重:約15kg	
5歳		○身長:約106cm ○体重:約17kg	
6歳		○身長:約113cm ○体重:約19kg	